

町田市公共施設再編計画策定にあたってこれからの公共施設のあり方について 市民説明会・意見募集・市民アンケートの結果報告

1. 市民説明会

〔実施概要〕

- 実施期間
2017年6月24日（土）～7月7日（金）
- 周知方法 ※申込不要
 - ・ 広報まちだ（6月1日号、15日号）
 - ・ 町田市ホームページ
 - ・ 町内会掲示板へのポスター掲示
 - ・ 各公共施設でのポスター掲示
- 開催場所 町田市内 10 地域

説明会会場一覧

対象地域	開催場所	日時	参加者人数
成瀬	なるせ駅前市民センター	6/24（土）14時～16時	10名
南	南市民センター	6/26（月）19時～21時	7名
本町田・薬師池	木曽山崎コミュニティセンター	6/27（火）19時～21時	15名
忠生	忠生市民センター	6/28（水）19時～21時	3名
相原	堺市民センター	6/30（金）19時～21時	6名
玉川学園	玉川学園コミュニティセンター	7/3（月）19時～21時	8名
鶴川	鶴川市民センター	7/4（火）19時～21時	13名
小山・小山ヶ丘	馬場さくら会館	7/5（水）19時～21時	4名
北部の丘陵	野津田公民館	7/6（木）19時～21時	5名
町田中心	市庁舎 おうえんルーム	7/7（金）14時～16時	19名

- 内容
 - ・ 説明 1 時間（町田市の公共施設の状況、直面している課題、これまでの取り組み、再編に向けた考え方）
 - ・ 質疑応答・意見交換 1 時間

〔結果〕

- 参加者 計 90 名
- 説明会を知ったきっかけ
 広報紙 34% ・ 知り合いからの誘い 33% ・ 施設掲示のちらし 25%
 ホームページ 8%
- 参加者アンケートで頂いたご意見 → ご意見募集の結果と合わせてホームページで公表
 （9月下旬予定）

● ご意見例（質問・意見 111 件）

【個別施設について】

- ・図書館が8館整備されたのに、今度は地域が重複しているから6館にする、という計画では、図書館が生涯学習の拠点であることがないがしろになっているし、市民としては納得しづらい。
- ・学校を縮小するような話になった時、通っている人が遠くなってしまうことについて、学校関係の人は考えていかないといけない。

【5ヵ年計画の重点事業について】

- ・野津田のグランドや南町田の開発にかけているお金を少し減らせば、状況が変わるとい話もあるのではないか。
- ・市で計画している工芸美術館や陸上競技場の拡充といったものにお金を使うといった話は、市民に問いかけがなく進んでいる。

【住民の声を聞く】

- ・住民が公共施設に何を望んでいたのか、それがベースにあるべき。学校は学校であったり、地域センターであったり、それぞれの持ち味がある。住民の声が反映できるものであってほしい。

【提案】

- ・町田市にはハローワークや裁判所や税務署など、市のものではない施設もある。もしかしたら、デパートとか民間施設も含めて大胆に取り組んだ方がいいのではない

かと思う。

- ・相模原市や八王子市との連携を積極的に行うことで住民に身近なサービス提供や機能の維持ができるのではないかと思う。
- ・地域単位の考えも検討して欲しい。
- ・公共ばかり頼りにしても発展的なものではない。つくってもらっても、管理ができない、人が集まらないといったことがないように、官民連携も時間をかけて話し合う必要がある。

【庁内共有について】

- ・公共施設等ということで、市役所の中でもいろいろな部署が関わっていると思う。今回の計画についてそれぞれで認識しているのか。

【交通手段・施設配置】

- ・現実として、交通手段がどのようになるかが不安だ。そこを補填するという話では予算がかかるし、結果が同じになるのではないか。
- ・お年寄りや子どもは行動範囲が狭いので、集約するよりも、小さな施設を多く配置して欲しい。

【維持修繕費について】

- ・維持管理コストを下げる工夫はあるのか。維持管理や運営費がかからない建物にして欲しい。

2. ご意見募集

〔実施概要〕

● 募集期間

2017年6月15日（木）～2017年7月17日（月）

● 配布物

「これからの公共施設のあり方についてご意見を募集します！」

- 閲覧資料
 - ・ 「これからの公共施設のあり方についてご意見を募集します！」
 - ・ 「公共施設再編計画 施設機能毎の実態課題のまとめと今後の方向性（案）」

※短中長なし

- 公表方法
 - ・ 広報まちだ（6月15日号）
 - ・ 町田市ホームページ
 - ・ 市役所、各市民センター、各市立図書館等で資料の閲覧、配布
- 意見の提出方法

各施設窓口 FAX Eメール

【結果】

- ご意見を頂いた人数 91名
- ご意見内容別の件数 231件
※集計の分類変更により件数が変わる可能性があります。
- 結果公表（ホームページ）
→9月下旬を予定

【ご意見の内訳】

ご意見の該当箇所		件数
1. 町田市が直面する課題		3
2. 課題の解決に向けた第一歩		3
3. なぜ今再編が必要なのか		2
4. 再編で目指すもの		50
5. より良いかたちを実現するためのポイント		47
		88
6. 施設機能毎の今後の方向性（案）について	全般	21
	庁舎・窓口施設等	3
	集会施設	8
	図書館	19
	学校	6
	保育園・児童発達支援センター	1
	学童保育クラブ	1
	高齢者福祉施設	1
	障がい福祉施設	2
	生涯学習施設	6
	保健施設	2
	文化ホール	1
	美術館・博物館施設	17
	スポーツ施設	2
その他の施設	11	
7.その他		38
合計		231

- ご意見例
 - ・再編計画では、既存施設だけでなく、今後計画している施設の両方を対象として、「公共施設・公共空間のより良いかたち」を実現させるために何にお金を投入するかを市民に問うべきだと思う。
 - ・建物とサービス・機能を切り離して考えるのではなく、今の建物に「こだわらず」とすべき。サービスと建物が影響する場合もあるはず。長所・短所を洗い出して考えるべき。
 - ・市民センターと高齢者施設、保育園など、できる限り複合施設にする。単独の施設ではランニングコストを抑えるのに限界がある。
 - ・集約、複合化がいいのか疑問である。それぞれの施設の性質をみきわめるべき。
 - ・市の施設はどれもその時代のニーズに応じ

て造られたものだと思うが、時代は変化し、行政の優先順位も刻々と変化しているので、思い切って選択的削減を進めるべきだ。

- ・「地域社会の中でみんなが誇りを持ち豊かな暮らしを続けられるように、みんなが集まりたくなる魅力的な場を確保し、地域に新しい魅力を生み出す」ことを重要視してほしい。
- ・施設の貸し出しを生涯学習センターや市民フォーラムに絞ると、今でも部屋の利用が過密になっていて問題である。各地区の使える施設の部屋の利用も考慮すべき。
- ・計画でよくあるが、トラブルになるのは具体的になってから。住民にもっと具体化したものを提示すべき。
- ・財政が厳しくなるから、公共施設の圧縮、コスト削減といっているが、南町田駅周辺整備や薬師池公園、芹が谷公園、野津田公園

の整備、モノレールの整備などには、多くの税金を使っている。

- ・お金がないというより、支出が片寄っているので、財政の再配分が必要である。
- ・市民からの発想、ボトムアップの考え方で進めるべきである。もっと市民の意見を重視してほしい。
- ・まだまだ本件に関する啓蒙が不足しているような気がする。Twitter等新しいメディアを積極的に使い、市民が自分の課題だとわかるように啓蒙して欲しい。
- ・市民参加でと言っているがどれだけの市民に現状が伝わっているのか疑問。もっと強く訴える必要があるのではないか。
- ・財政効率化を理由に、市民の福祉が後退する事の無いよう、安易に結論を急ぐべきでない。市民誰もが参加できる十分な議論を求める。

3. 市民アンケート

〔実施概要〕

- 実施期間
2017年6月15日（木）～2017年7月17日（月）
- 対象者
市内在住の15歳以上の男女3,000人（無作為抽出）
- 配布物
 - ・ 「これからの公共施設のあり方について」 ※ご意見募集と同じ内容
 - ・ 調査用紙 1枚
- 調査内容
公共施設再編計画の考え方、各施設の今後の方向性、回答者の属性
- 実施方法
郵送配布・郵送回収

〔結果〕 ※【資料2】参照

- 回答部数 1,010部（回収率33.7%）
- 結果公表（ホームページ） → 9月下旬を予定